

さぽせんニューズレター

2011 年秋号
Vol.31

9/12(月)

市立松林中学校 3 年生 総合的学習

『私たちにできることは・・・ボランティアとは』



加藤さんの清掃パフォーマンス

◎一歩を踏み出すことでたくさんのことに触れ合い、
たくさんのことを学べるのだとわかりました。この言
葉は絶対に忘れません。

◎僕も今から自分を変えることができるのでしょうか。
長い人生、一歩ずつ人のためになるように、こ
れから生きていきたいです。

◎加藤さんの中学時代は最悪だったかもしれないけ
ど、今の加藤さんを作るためには必要不可欠だっ
たのだと思います。今、私が過ごしている中学
時代も、きっと私を作るために必要だとわかり、毎
日てきとうに過ごしてはいけないとわかりました。

◎今までの人生を語ってもらった時は、土の中から
はい上がった芽のようなすばらしいことをしている
と感じました。

◎楽しそうに掃除をしているように見えました。それ
を見てボランティアとは本来はやりたくないのに無
理矢理やらされるのではなく、自発的に楽しく意義
をもって取り組むことだということがよく理解するこ
とができました。



「一歩踏み出す勇氣」

NPO 法人 一 心 一

いっしんよこいち

かとうたけあき
加藤壮章



茅ヶ崎駅周辺の清掃活動を始めて早半年が経ちました。ディズニーランドで学んだ掃除の技術を活かせないかと思ったことがきっかけでした。以前、不登校・ひきこもりをしていた私がこのようなことを思い立ち、行動できたことは自分自身驚いていて、夢のように思います。

私がただ思っているだけで空想の世界にふけていたらもちろんそれは夢で終わっていました。

こうなりたい！こうしたい！と思っても、動き出さなければ何も始まらない…。「一歩踏み出す勇氣」の大切さを身に沁みて感じました。その自覚が今の清掃活動にも大きく影響しました。行動する前に不安や恐怖がありました。とにかく踏み出そう！と覚悟しました。

そして踏み出した時に様々な気づきがあり、縁、人とのつながりが生まれました。9月に松林中学校で清掃パフォーマンスをさせていただいたのも、こうした人との出逢いから始まり、つながって実を結んだことの顕れです。沢山の人の支えや励ましがあったおかげだと思っています。

また、松林中学校の生徒が温かい眼差しで見てくれたからこそ、楽しさや喜びが生まれ、一つのパフォーマンスとして成り立つことができたのです。私は清掃活動を通し、「行動する大切さ」と「おかげさま」という感謝の気持ちを学びました。これからもその学びを活かして清掃活動をしていきます。



予告

NPO法人会計基準早わかり

～信頼される強いNPOになるために～

2011 NPO
寄付会計講座 2

【日時】12月2日(金) 18:30～20:30
【場所】ちがさき市民活動サポートセンター
【講師】早坂 毅さん
(税理士・横浜市立大学・関東学院大学 講師)
【定員】50名(申込制・先着順)
【参加費】500円 申込はサポートセンターまで



NPOの活動が社会に理解され、共感を得るカギになるのが情報公開です。これまでNPOの会計には基準がなく活動実態がわかりにくいものでしたが、2010年7月に「NPO法人会計基準」が公表されました。「NPO法人会計基準」は全国で統一した会計報告のルールです。まずは活用してNPOの信頼度アップにつなげましょう。

集めたい団体の寄付金講座 今、NPOが進化するチャンス!!

2011 NPO
寄付会計講座 1

【日時】10月7日(日)18:30～20:30
【場所】ひらつか市民活動センター 参加人数: 33名
【講師】「NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会」プログラム・ディレクター 関口宏聡氏

2011年6月、日本の寄付税制の革命的な改革により市民活動を支える2つの大きな制度改正が実現しました。



NPO法改正&新寄付税制で、認定NPO法人*になりやすく、寄付を集めやすくなります!

- ・3千円の寄付をしてくれる人が年平均100人以上いれば認定NPO法人になれます。
- ・来年4月から「仮認定制度」も可能になります。
- ・みなし寄付金制度が拡充されました。

認定NPO法人に寄付をした場合

最大50%税制控除=減税

所得税の税額控除制度が導入されて控除割合は、寄付金の40%+地方税10%=最大50%にもなります。

是非、認定NPO法人に向けてチャレンジしてみましょう。なお、詳しく知りたい方は所轄の税務署で「認定NPO法人制度の手引き」(無料)をもらえます。とはいえ、認定NPO法人になるためには、クリアしなければならない要件があります。「認定を取ろう!委員会」パンフレットも配布中です。参考にして下さい。



*認定NPO法人:これまで厳しい条件をクリアしなければ「認定」が受けられず現在、神奈川県は19法人のみ。

予告

NPO映像メディア活用講座 2

2011 NPO
映像講座

【日時】11月5日(土)10:00～17:00
【場所】ちがさき市民活動サポートセンター
【協力】NPO法人湘南市民メディアネットワーク

2回目の映像制作体験講座では各団体が持参の写真を使って、ナレーション・BGM・テロップなどが入った、団体のCM映像(90秒程度)を制作します。

動画サイトや自団体HP上で活動を発信したり、作成した映像を協働事業のプレゼン・報告書として利用したり、イベント会場でたくさんの人にPRやメッセージを送ることもできます。

※映像を作りたい団体を追加募集しています。

第1回(10月5日開催)では、見ただけで伝わる映像の魅力について、お話していただきました。実際にNPO団体や企業のCM映像を鑑賞しながら、広報したい内容を企画・撮影・編集していく際に重要なポイントを、巧みな話術で解説してくださいました。

みなさんからは、制作にあたって不安や不明点の質問・ご意見が多数出ました。当日の配布資料はサポートセンターにありますので、興味のある方は、お声をかけてください。



森 康祐代表

協働

【予告】10/27(木)協働推進事業公開プレゼンテーション

16:00～18:05
青少年会館 2階ホール

市民提案型に3団体(新しい公共推進枠1団体)、行政提案型に2団体が応募。NPO等と行政が対話を積み重ねて事業提案に至りました。新たなチャレンジに向けて熱気に満ち溢れた市民活動の現場に、ぜひお越しください!

NPO等と行政の協働に向けた意見交換会

今年は7団体が初参加。双方でアイデアを持ち寄り、協働の芽を育て、事業実施への可能性を探りました。

8/12 Pawpads～湘南いぬねこの輪～、湘南アーティストサポートネットワーク、Yuigo、ちがさき自然エネルギーネットワーク(REN)

8/18 花とともにくらす会、(株)ドゥイット、NPO法人湘南ふじさわシニアネット、NPO法人一心一

8/23 NPO法人湘南スタイル、子育て応援まつり実行委員会



【日時】11月13日(日)14:00~16:00 【場所】茅ヶ崎市民活動サポートセンター 【参加費】300円

今回“パソコンで「働く」に一つつながりたい”をテーマに「NPO 法人パソコンボランティア湘南」大木理事長からお話を伺います。パソコン湘南は様々な障がいや個性に合わせた方法でパソコン操作を習得できるようにサポートしています。パソコン支援を受けている方の体験談や、キャリアサポーターの行成文男さんから生き方相談の経過報告もお聞きできます。パソコンに関心をお持ちの障がいのある方、バリアフリーの「まち」に関心のある方、初めての方もぜひご参加下さい。手話通訳あり、託児希望の方は11月1日までにお申し込み下さい。

めざせ! 災害エコレンジャー2011

カフェ

【日時】7月31日(日) 8月20日(土)

【場所】茅ヶ崎市民文化会館展示室

参加人数: 31日174人 20日179人

サポートセンターのカフェのなかで唯一小学生を対象にした事業です。茅ヶ崎市ジュニアリーダーズクラブのお兄さんお姉さんをリーダー役に、小さい時からいろいろな人と関わりを持ち、知らない人と協力することの大切さを知る体験となりました。

両日とも残念ながら天候に恵まれず、ソーラークッカーは実演できませんでしたが、太陽光で動くおもちゃや、段ボールコンポスト、廃食油キャンドルなどでエコや自然エネルギーを学び、防災に役立つロープワークや三角巾講習をしました。

1、2年生にはロープや三角巾を結ぶのが難しく、付き

添いの保護者の方も一緒になって真剣そのものでした。普段、学校や家庭ではできないことを体験してエコや防災に関心を持ってもらえたと思っています。

共催:ちがさき自然エネルギーネットワーク (REN)

協力:茅ヶ崎市、茅ヶ崎市ジュニアリーダーズクラブ、日本ボーイスカウト神奈川連盟茅ヶ崎第3団、小和田地区防災リーダー



ソーラークッカーの説明に興味津津! 何ができるのかな?

ユースボランティア茅ヶ崎 2011 (夏休みボランティア体験)

オリエンテーション: 7月21日・22日

体験期間:7月23日~9月15日

参加者:152名(体験延べ人数431名)

受入先:市内19施設・団体



今年も夏休み期間を利用して、中学生から大学生くらいまでの人たちが

ボランティアを体験しました。東日本大震災の報道で、ボランティアの活躍を見る機会が多かった影響か、これまでの最多の申込でした。受入先は障害者・高齢者施設・保育、海岸清掃・里山保全など多岐にわたっています。どのボランティアをするか希望し、初めての場所でオリエンテーションに参加し、受入先の人と話しながら自分の体験を決定する。それだけでも、中学生にとっては今までにない大変な経験だったと思います。

近くに住む人たちが少しでも住みやすく、明るく暮らしていけるよう何か出来ることはないか、考えたり行動したりするきっかけにしてもらえたらと思います。

今年も<<ボランティア塾 in 鶴嶺高校>>

11月22日(火)4時間目、総合学習の時間に開催!! 鶴嶺高校1年生320名が希望する市民活動団体の活動を見て聞いて、学びます。

今年は13団体が塾の講師となります。テーマは、「人権」および「東日本大震災に関するボランティア活動」などです。

「2011 年度版ちがさき市民活動 団体ガイドブック」発行

新規23団体増えて計283団体を収録しました。貴重な情報源として活用され市民活動への理解や参加促進、更には相互の連携、協働推進の一助になります事を願っています。市民活動団体の情報はサポートセンターのホームページ上でも公開しており、WEB版はまだ載せられますので、新規・修正など随時受付しています。

ご意見、ご質問などお気軽にお問合せください。

市民活動お役立ち図書あります!

サポートセンターの図書の貸出が可能になりました。分野別に振り分けられ、ご覧になりたい本がすぐに探せます。最近話題の本も取り揃えていますので、のぞいてみてください。おいてある本が一目でわかるホームページの「図書コーナー」をチェック!



夏の節電 ご協力ありがとうございました

8月と9月の電気使用量は、昨年度と比べて30%減少! ゴーヤ募金は、5,162円。市民活動を応援するげんき基金に寄付させていただきました。



○「さぼせんサポーターズ(仮称)」 募集説明会

日時: 11月13日(日)13:00~13:45

場所: 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

プロボノ(pro bono)は、職能を生かして行う新しいボランティアとして注目されています。最近、IT・経理などの分野で支援を必要とするNPOが多く見られます。

そこで、茅ヶ崎市民活動サポートセンターでは、社会的な課題解決に取り組むNPOのスキルアップやサポートセンターの運営を一緒に支えてくださるボランティアを募集します。

「サポーターズ(仮称)」に登録して、あなたのスキルを発揮してください。なお募集要項は11月1日にセンターのホームページに掲載します。



○「新しい公共」で茅ヶ崎を変える

～新しい公共研究会スタディレポート～

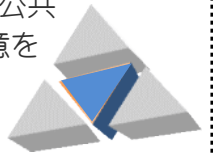
日時: 10月29日(土)13:30~16:45

場所: 勤労市民会館6F A 研修室

NPOと行政が約1年にわたり共同で調査、研究しながら対話を進めた「新しい公共」の研究成果を報告します。

市民が社会の当事者となることの大切さを、「新しい公共」推進会議構成員を務めた早瀬昇さん(社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事)にお話いただき、最後に NPO・行政・事業者の3者によるパネルディスカッションにて、それぞれが新しい公共の実現に向けた今後の取り組みの決意を語ります。市HP「新しい公共研究会」から報告書をダウンロードできます。

さあ、市民が主役のまちづくりへ!



○インターネットを活用した情報発信に関するアンケート 回答 50 団体

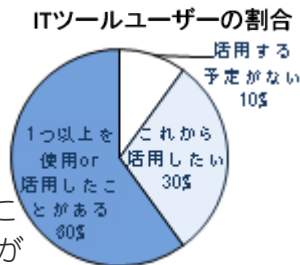
団体共通の悩みとして

- IT 担当者がいない
- 基本的な使い方がわからない
- スキルアップをしたい……

などの回答がありました。

気軽に悩みを相談でき、継続的にサポートしてもらえる場所・窓口が必要であることがわかりました。

今後は、NPO 講座の企画をはじめ、ボランティアスタッフによる IT サポートなど、センターの機能拡充に努めます。ご協力ありがとうございました!



団体の運営に関するこんな「困りごと」の相談にもなっています。事前にセンターまでご連絡ください。



- ★市民活動げんき基金に応募したいので企画書の書き方やプレゼンのコツを教えてください。
- ★仲間も資金もないけれどソーシャルビジネスとしてアイデアを実現させる可能性をさがりたい。
- ★空きスペースを共同オフィスとして提供したい。借り手となる NPO はどれくらいあるだろうか。
- ★事務所移転や変更登記を急ってしまったので専門家を紹介してほしいなど。。

○新しい公共＝市民同士が支えあう、市民が主役のまちづくり

安心して健やかに、暮らすことができるまちづくりは、市民・行政共通の目標です。しかし、少子・高齢化など社会構造の変化に伴い、行政が掲げる公平・平等の原則による施策(＝従来の公共)だけでは多様な市民の願いに対応することが難しくなってきました。

それならば、「自分たちでできることは自分たちでやろうよ。市民同士が支え合おう」という思いを持って集まった市民が、自分たちが選んだ課題の解決に向かって行動する、社会貢献的な市民活動を中心にしたまちづくり(＝新しい公共)が求められてきています。

今年は、このような自発的で有益な活動に取り組む人たちが公共サービスの担い手としてさらに強くなれるように応援するプログラム、「新しい公共支援事業」がスタートし、NPO が寄付を集めやすくするための税制も改正されました。

市民が主役のまちづくりに向けて、今、まさに風が吹いています。サポートセンターは社会を変えたいと願っているすべての人がその力を発揮できるように、市民、行政、事業者の3主体間の橋渡し役を担っていきます。どうぞよろしくお願いします。

*参考 ちがさき市民活動サポートセンター情報誌 Vol.1 2002 年 8 月 30 日発行 広報誌「ちがさきアイドゥ!」発刊に寄せて 幸村敬



NPO サポートちがさきの初代代表としてサポートセンターの立ち上げにご尽力された幸村敬さんが、10月3日永眠されました。「新しい公共」の実現に向けて市民が主役となるまちづくりを標榜し、情熱的に活動された功績を讃え、感謝と哀悼の意を表します。

さぼせんニューズレター2011 年秋号(2011 年 10 月 25 日発行)通算 31 号

編集・発行 特定非営利活動法人 NPOサポートちがさき 発行責任者 益永律子

〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

TEL/FAX: 0467-88-7546 E メール: s-center@pluto.plala.or.jp ホームページ: <http://sapocen.net/>